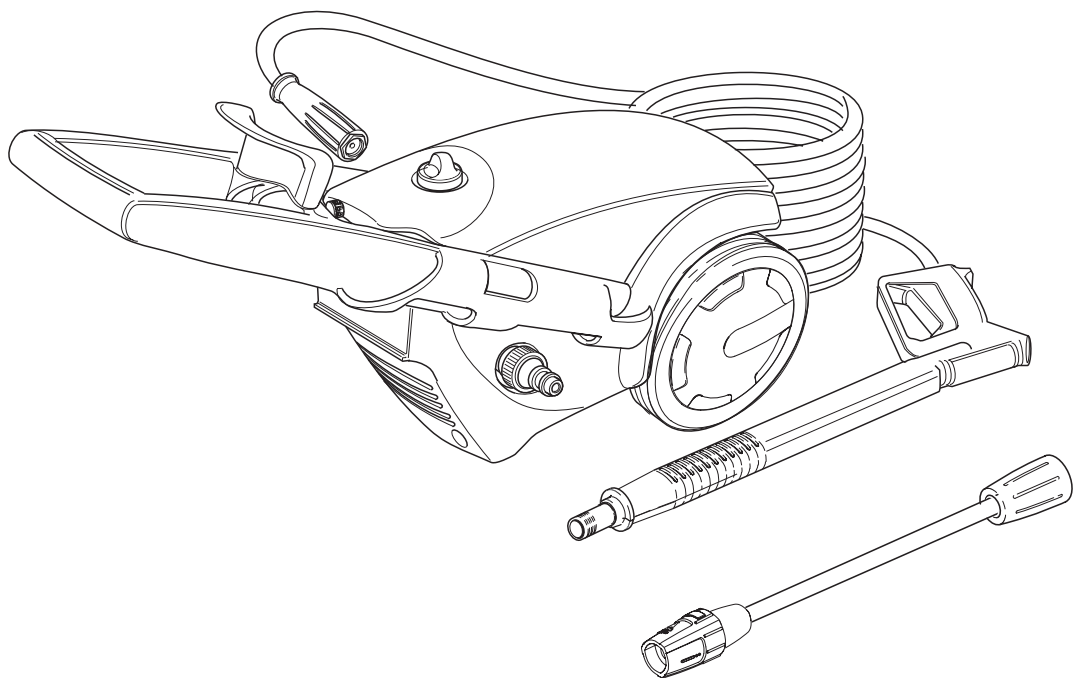


ケルヒャー業務用高圧洗浄機

HD 605

取扱説明書



この度は、ケルヒャー業務用高圧洗浄機をお買い上げいただき誠にありがとうございました。ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

●もくじ

| | |
|---------------|-------|
| 安全上の注意 | 3～7 |
| 仕様および標準装備品 | 8 |
| 各部名称 | 9 |
| 準備しましょう | 10～12 |
| ため水を使用する場合 | 13～14 |
| 動かしましょう | 15～16 |
| 作業を中断する場合 | 17 |
| 洗浄剤を使用する場合 | 18 |
| 作業を終了する場合 | 19～20 |
| メンテナンス | 21～22 |
| 冬季・長期間の保管方法 | 23 |
| トラブル対応 | 24～27 |
| ユーザー保証・問い合わせ先 | 28 |
| 修理依頼書 | 29 |
| 補修部品 | 30 |

安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



洗浄は自己責任にて行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。



ご使用時の警告



本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。

電源ケーブルに異常がある場合は使用しないこと
プラグの刃の折れ曲がり、プラグの変形、ケーブルに折れ曲がりやつぶれがある場合は使用しないでください。
発火、感電することがあります。

タコあし配線はしないこと
複数の電気製品を同じコンセントで使用した場合、ブレーカーが作動する場合があります。

危険物を洗剤の代わりに吸引しないこと
灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料などの油性の液体や薬品は吸わせないでください。火災になる恐れがあります。

危険物のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

人体に向けて高圧水を使用しないこと
人体に向けて高圧水をかけないでください。
皮膚の裂傷、失明、難聴になる場合があります。

子供には触らせないこと
ケガをする場合があります。

改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
機能を十分に発揮しない場合が生じ思わぬ事故のもとになることがあります。



ご使用時の警告



作業に適した服装、防具を身につけること
事故の回避、ケガの防止のため装着してください。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

作業を中断・終了する際は必ずトリガーガンの安全ロックをロックすること

誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故が生じる場合があります。

電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみやがたつきがある場合、ショートし発火の原因となります。

交流 100 V 单相 50 Hz ・ 60 Hz 電源で使用すること

異種電圧で作動させた場合、火災の原因となります。

銘板に記載された周波数でご使用ください。

50Hz と 60Hz は共用できません。

漏電ブレーカーを設置すること

安全確保のため漏電ブレーカーを設置してください。

延長コードは 15 アンペアの規格品を長さ 10m 以内で使用すること

電源コードを延長して使う場合は必ず 15A 仕様の延長コードを購入してご使用ください。規定以下の商品を使用した場合、電源コードやプラグが壊れ発火の原因になります。標準装備のケーブルより必ず太いものを用意してください。

長さ 10 m 以上は延長できません。コードリールも使用できません。

アースをすること

アースがない場合はお買い上げ販売店に依頼し、第3種接地工事をしてください。

水道管、ガス管、電話線、避雷針のアースには絶対に接続しないでください。



ご使用時の注意



火気のそばに置かないこと

本体が変形し発火の原因になる場合があります。

異種洗剤を混ぜないこと

酸性洗剤とアルカリ性洗剤を混ぜないでください。

有毒ガスが発生します。

酸性洗剤、アルカリ性洗剤、農薬、消毒液などを使用しないこと

機械の故障の原因となります。

洗浄剤はケルチャー純正洗浄剤をご使用ください。純正洗浄剤以外を使用して生じた故障は保証の対象外となりますのでご注意ください。

ノズルを停止して同じ部分を洗浄しないこと

高圧水により対象物が損傷する場合があります。

他機種 of ノズルを兼用しないこと（オプションアクセサリを除く）

故障の原因となります。

洗浄機を通過した水は飲まないこと

飲料には適しません。

シートなどを本体にかぶせて使用しないこと

発火する場合があります。



高圧ホースの取扱いは注意すること

高圧ホースは、折らないでください。破損の原因となります。

作業を行う前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばしご使用ください。

必ず純正高圧ホースをご使用ください。

他社製品を使用した状態での事故、損傷についての苦情はお受けできません。

摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利・碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。

ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。

高圧ホースに異常（深い傷や折れ曲がりなど）がある場合は使用しないでください。

本体または高圧ホースが異常に振動していると感じた場合は使用を中止し点検を依頼してください。



ご使用時の注意



周囲の安全に気を配って使用すること

水を出す瞬間反動があります。周囲に気を配りトリガーガンをしっかり握ってください。反動により振り回される場合があります。

ノズルの取り替え時は水を止めること

ノズルを取り替える場合はトリガーガンの安全ロックをロックし、水が出ない状態で行ってください。

水を出した状態で変更するとノズルが壊れる場合があります。

自家水道で井戸水などを使用する場合は別売りのフィルターを使用すること

異物の混入によるポンプの故障を防ぐために必ずご使用ください。

ため水を使用する場合は別売りのフィルターとサクシオンホースセットを使用すること

サクシオンホースセットを使用しない場合ポンプの損傷の原因となります。異物の混入による機械の故障を防ぐためフィルターも必ず併用してください。

給水温度は最高 60℃まで

給水温度が 60℃を超えると、機械が壊れる原因となります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと 個人の修理は事故のもとになる恐れがあります。

本体は大切に扱うこと

ホース類を無理に引っ張ったり、本体を落下させたりしないようにしてください。本体が損傷します。

洗浄を行なう場合は事前にテストを行なうこと

洗浄対象物の状態を確認するために洗浄テストを行なってください。事前テストを行わずに使用した場合、塗装面や素材が損傷する場合があります。

洗浄対象物に適した距離で洗浄を行なうこと

ノズルを近づけすぎた場合、高圧水により対象物が損傷する恐れがあります。

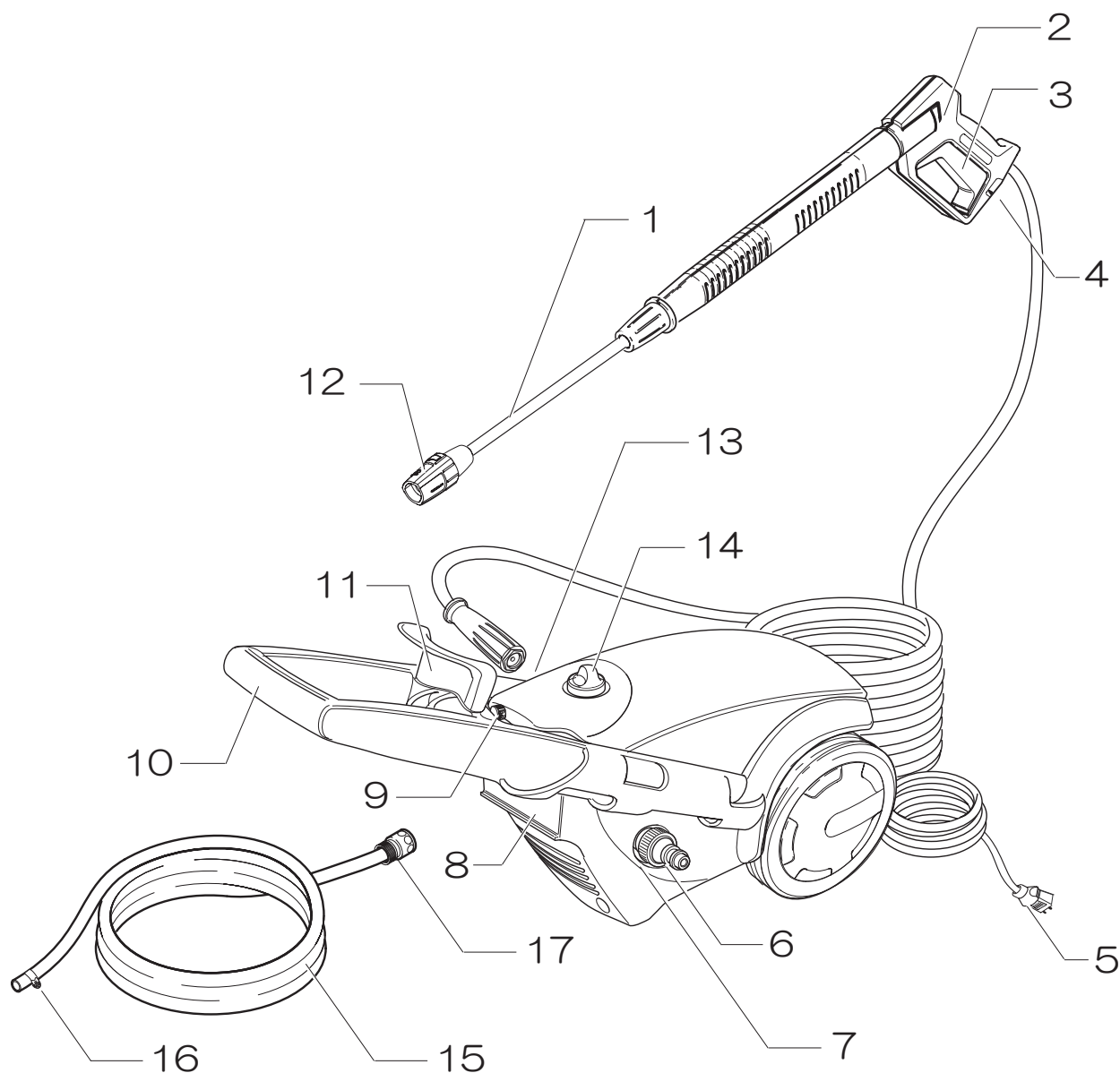
仕様および標準装備品

| HD 605 仕様 | |
|-----------|--------------------|
| 電源 | 100V 50/60 Hz 別 |
| モーター出力 | 1.4 kW |
| 吐出圧力 | 8Mpa |
| 吐出水量 | 400 ㍓/時間 |
| 給水温度 | MAX60℃ |
| 長さ×幅×高さ | 740 × 300 × 400mm |
| 本体重量 | 17.5 kg (アクセサリ含) |

| 標準装備品 | |
|---------------------------------|-----|
| トリガーガン | 1 式 |
| 3ジェットノズル | 1 個 |
| 高圧ホース (10 m) | 1 本 |
| スプレーランス (400 mm) | 1 本 |
| 水道ホース (6 m) ※ホース側カップリング・ホースバンド付 | 1 本 |
| 本体側カップリング | 1 個 |

- ポンプから1分間当たり10滴程度の水もれがある場合がありますが異常ではありません。
- 本機には圧力スイッチが内蔵されているためトリガーガンを放すとモーターが停止します。長時間放置した場合、自然減圧が生じ何もしない状態で再起動する場合がありますが、異常ではありません。
- 5分以上停止させる場合にはメインスイッチを切ってください。
- ポンプからオイルがにじむ場合がありますが異常ではありません。
- ホース・コード類の長さに関して、実寸を±5%の範囲で設定しております。

各部名称



- | | | | |
|---|----------------------------|----|------------|
| 1 | スプレーランス | 9 | 洗浄剤ホース |
| 2 | トリガーガン | 10 | 移動用ハンドル |
| 3 | トリガーガンレバー | 11 | ホースホルダー |
| 4 | 安全ロック | 12 | 3ジェットノズル |
| 5 | 電源プラグ | 13 | 高圧ホース接続口 |
| 6 | 本体側カップリング | 14 | スイッチ |
| 7 | 給水口 | 15 | 水道ホース |
| 8 | 取っ手 (本体を持ち上げる際はここを持ちます) | 16 | ホースバンド |
| | | 17 | ホース側カップリング |

※外観・仕様は開発・改良により予告なく変更になる場合があります。

※黄色い部品はお客様が清掃時に操作される部分です。

準備しましょう

準備するもの



- マイナスドライバー 1本
- ※トルクスドライバー（T25）もお使いいただけます。
- 作業用手袋

箱の中身を確認します



HD 605 本体 1台



移動用ハンドル 1個



ネジ・ナット
各4個



トリガーガン 1本
(高圧ホース組み込み)



ホースホルダー 1個



本体側カップリング 1個



3ジェットノズル 1個



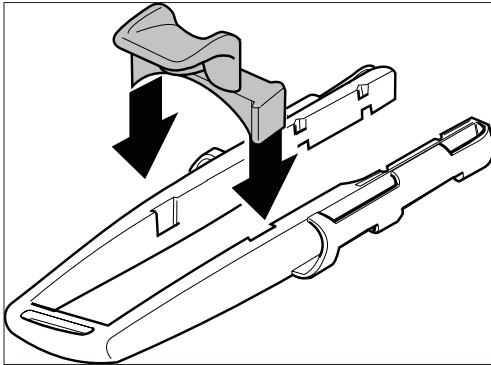
スプレーランス 1本



水道ホース 1本
(ホース側カップリング・ホースバンド付)

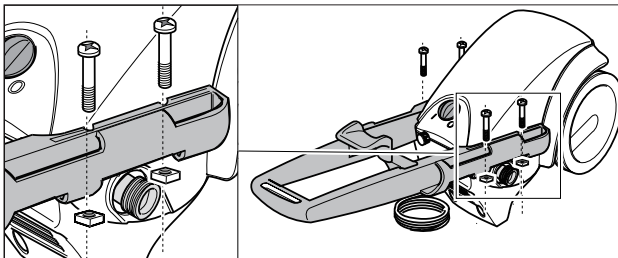


ケガをしないように組み立ての際は作業用手袋をして作業してください。



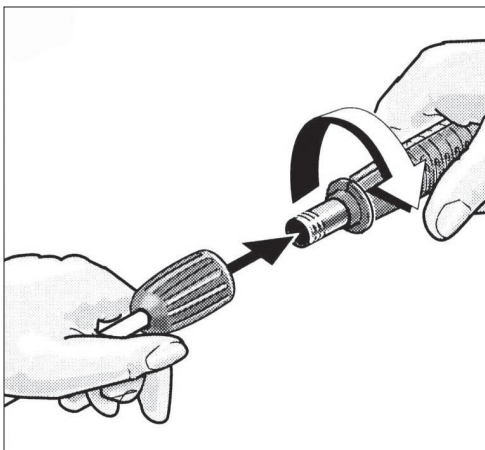
＜ホースホルダーを取り付ける＞

ホースホルダーを移動用ハンドルの溝にはめ込んでください。



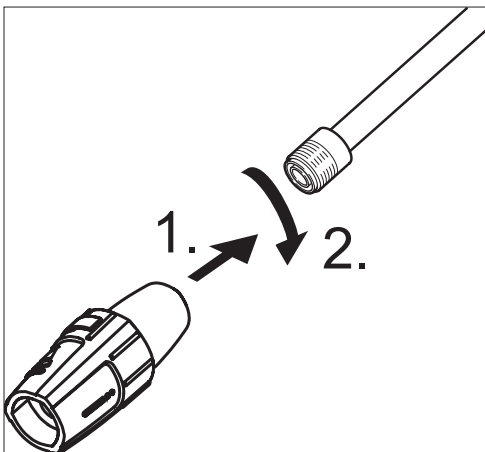
＜本体に移動用ハンドルを取り付ける＞

本体と移動用ハンドルの4か所のネジ穴を合わせ、裏面の四角い穴にナットをはめてネジを締めてください。



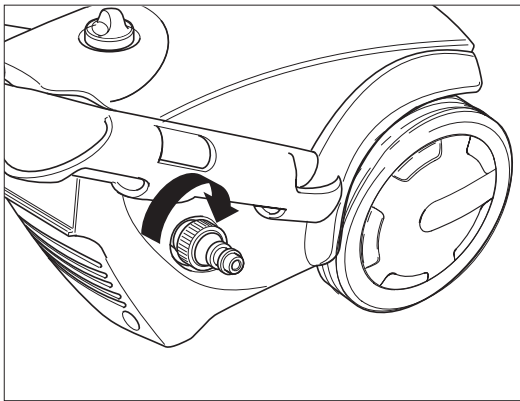
＜トリガーガンにスプレーランスを取り付ける＞

トリガーガンの先にスプレーランスを差し込み、手でナットを回して締めてください。

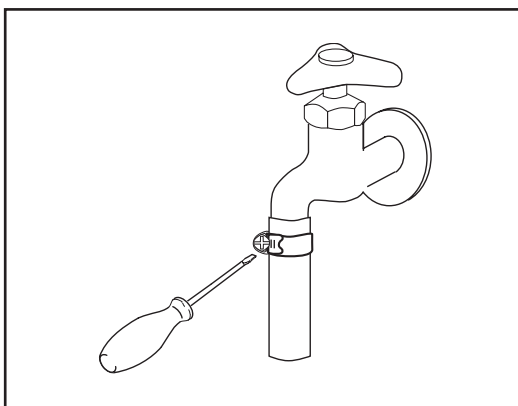


＜3ジェットノズルをスプレーランスに取り付ける＞

3ジェットノズルをスプレーランスの先端に差し込み、手で回して締めてください。
スプレーランス先端のOリングが脱落、損傷している場合は交換してください。

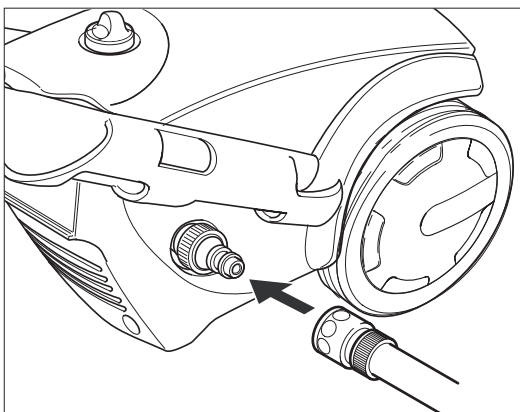


＜本体側カップリングを取り付ける＞
本体給水口に本体側カップリングを取り付け、手で回して締めてください。

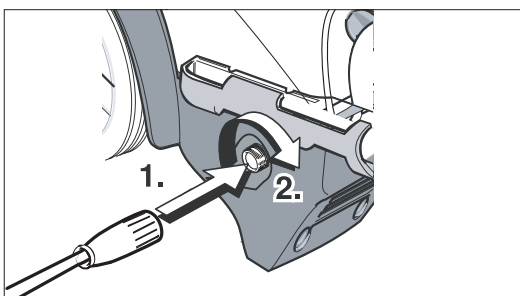


＜水道ホースを蛇口に取り付ける＞
水道ホースの端を蛇口に差し込み、ホースバンドでしっかり固定してください。

※ホースバンドは外れないように工具でしっかり締めてください。



＜水道ホースを本体に取り付ける＞
本体側カップリングにホース側カップリングを奥までしっかり差し込んでください。



＜高圧ホースを本体に取り付ける＞
高圧ホースを高圧ホース接続口に取り付け、ナットを手で回して締めてください。



高圧ホースのOリングに損傷がないか確認してください。
損傷している場合には本体との接続部分から水もれが生じます。

ため水を使用する場合

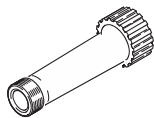


水道栓がなくため水を使用する場合は、必ず別売りの自吸用ホースとフィルターを使用してください。



自吸用ホース：

付属の水道ホースではため水の吸い上げはできません。機械の故障の原因となります。



フィルター：

異物の混入による機械の故障を防ぐためフィルターも必ず併用してください。

ため水を使用する場合の手順

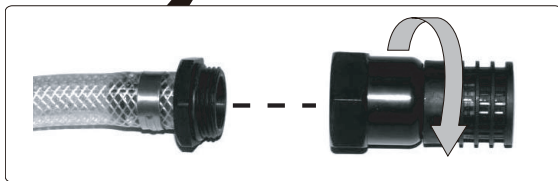


＜自吸用ホースへ呼び水※をする＞

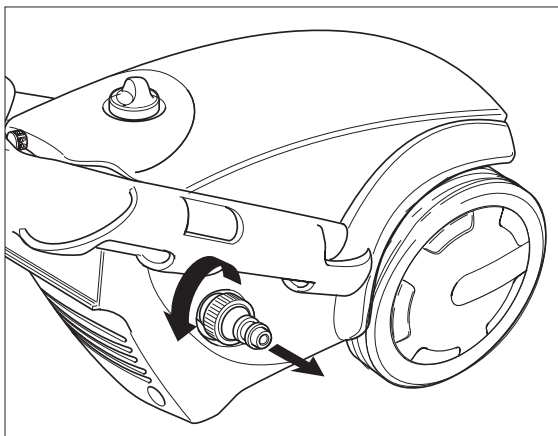
自吸用ホースの先端部分を外してください。

※呼び水…ホースの中へ水を入れること。

ホースの中に水が入っていないとため水を吸い上げません。

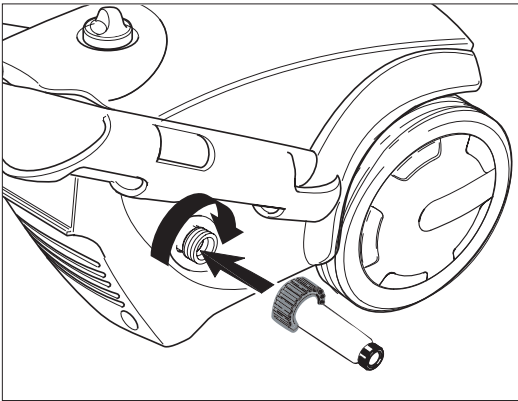


自吸用ホースをため水の中に沈め、十分に水が入ったら先端部分を元通り取り付けてください。



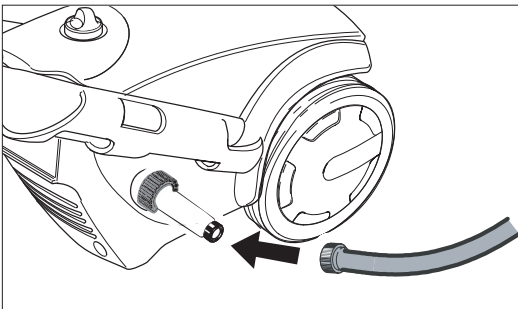
＜本体側カップリングを取り外す＞

本体の給水口に取り付けてあるカップリングを取り外してください。



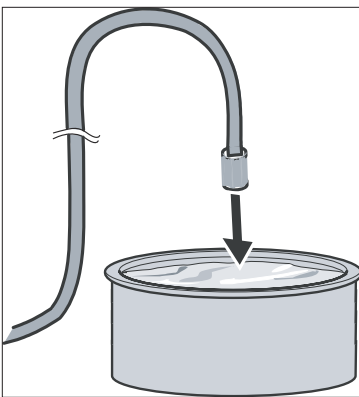
＜給水口にフィルターを取り付ける＞
本体の給水口にフィルターをしっかりと取り付けてください。

※ゆるみがあるとため水を吸い上げません。

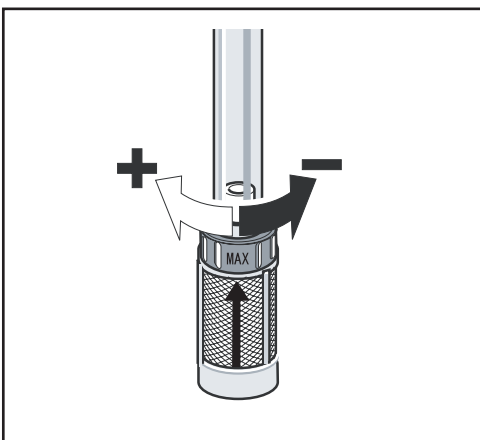


＜フィルターにホースを取り付ける＞
給水口に取付けたフィルターに自吸用ホースをしっかりと取り付けてください。

※ゆるみがあるとため水を吸い上げません。



＜ホースをため水に入れる＞
自吸用ホースの先端をため水に沈めてください。



＜洗浄剤フィルターを調節する＞
洗浄剤ホースを引き出し、先端のフィルターを「-」側へ止まるまで回してください。
これによりフィルターからの空気の混入を抑制します。

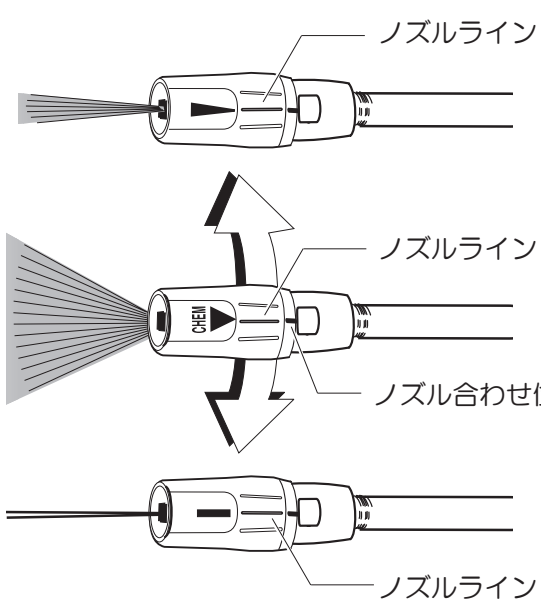


水面と機械との高低差は1 m 以内にしてください。

動かしましょう

＜ノズルの噴射角度を選ぶ＞

3ジェットノズルは用途に応じて噴射角度を選んでお使いいただけます。



ノズルライン

高圧 25° : 広範囲の汚れを落とす場合

ノズルライン

ノズル合わせ位置

低圧広角 : 洗剤を使用する場合
もしくは低圧で作業する場合
(CHEMと表記されています)

高圧直噴 0° : 頑固な汚れを落とす場合

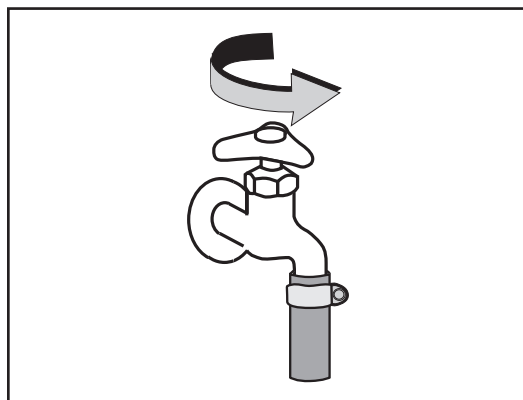
ノズルライン

ノズルの変更方法
ノズルカバーのマーク下の中央にあるノズルラインとノズル合わせ位置を合わせてください。



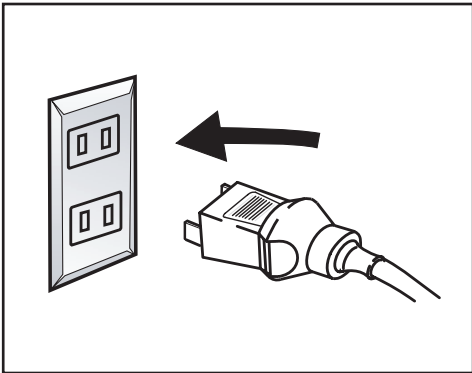
注意

ノズルの変更は必ずトリガーガンの安全ロックをロックし、レバーが握れない状態で行ってください。
水が出ている状態でノズルを変更した場合はノズルが壊れます。



＜水道栓を開ける＞

水道栓は全開にしてください。

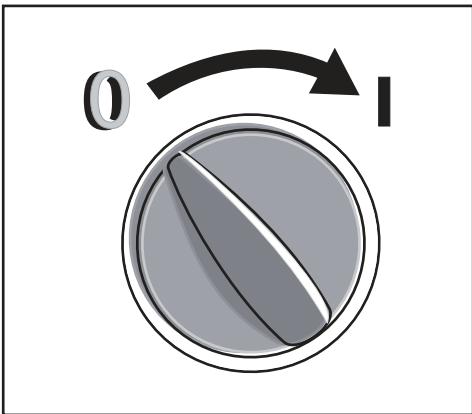


＜電源プラグをコンセントに差し込む＞
電源プラグをコンセントに差し込んでください。



注意

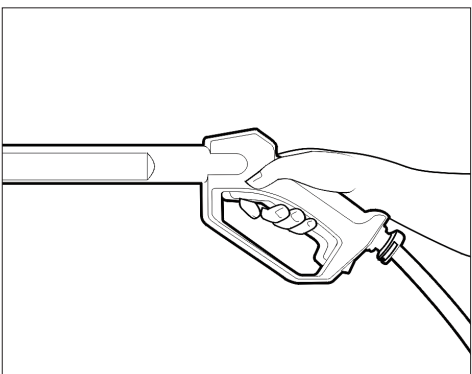
- 漏電ブレーカーを設置すること
- 延長コードは 15 アンペア仕様で 10m 以内の長さの延長コードを使用すること
- 延長コードは巻いた状態では使用しないこと
- 必ずアースをすること



＜本体の電源を入れる＞
メインスイッチを「I」の方向へ回します。

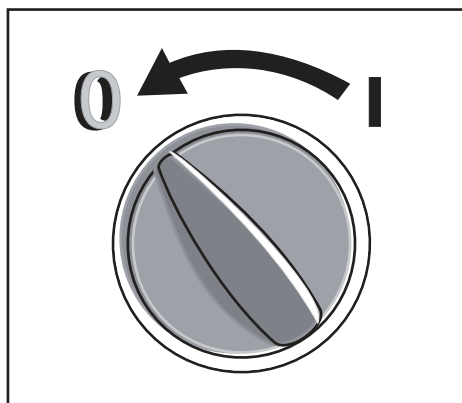


＜トリガーガンの安全ロックを解除する＞
安全ロックを高圧ホース側に押すとロックが解除されます。



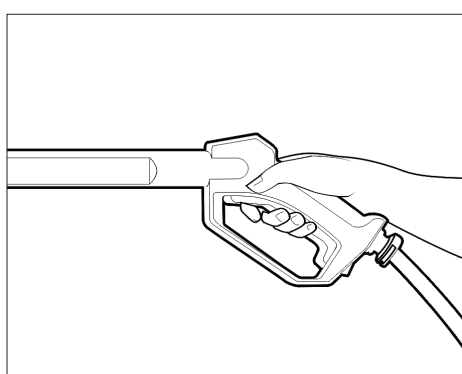
＜清掃を開始する＞
トリガーガンのレバーを握ると水が出ます。
過度の圧力で洗浄物を傷めないよう、適度に離して洗浄してください。

作業を中断する場合



＜本体の電源を切る＞

トリガーガンのレバーをはなして水を止め、メインスイッチを‘0’の方向へ回してください。



＜トリガーガンのレバーを握る＞

トリガーガンのレバーを握って残った圧力を抜いてください。



＜トリガーガンの安全ロックをかける＞

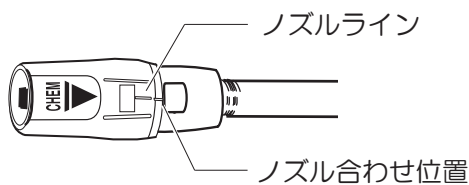
安全ロックをスプレーランス側に押すとトリガーガンのレバーがロックされ、握れない状態になります。



警告

作業を中断・終了する際は、必ず安全ロックでトリガーガンのレバーをロックし、レバーを握れない状態にすること
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故につながる可能性があります。
高圧水が誤って人体に向けて噴射された場合、死亡または重症を負う場合があります。

洗剤を使用する場合



＜ノズルの噴射角度を選ぶ＞

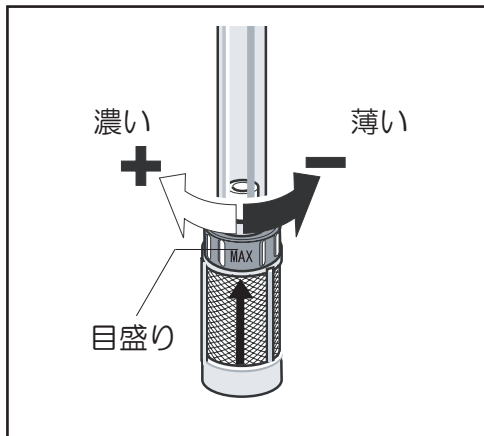
洗剤を使用する時は低圧広角ノズルに変更してください。
(CHEMと表記されています。)

高圧ノズルでは洗剤は出ません！



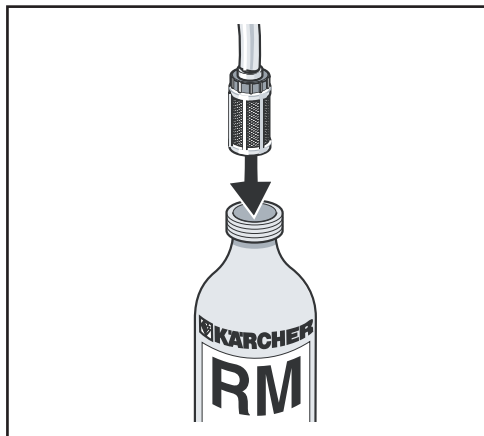
注意

ノズルの変更は必ずトリガーガンの安全ロックをロックし、レバーが握れない状態で行ってください。
水が出ている状態でノズルを変更した場合はノズルが壊れます。



＜洗剤の濃度を調節する＞

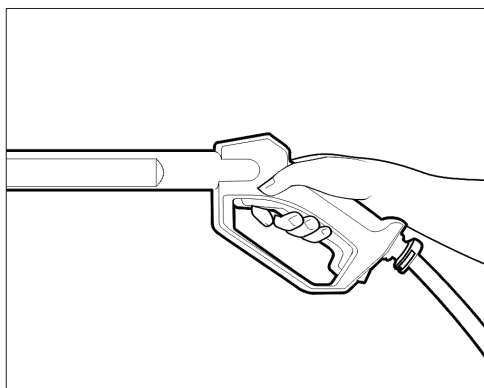
洗剤ホースを引き出し、先端のフィルターを回して矢印をフィルター上部の目盛に合わせ、洗剤の濃度を調節してください。



＜洗剤ホースを洗剤に入れる＞

濃度を調節後、洗剤ホースを洗剤に入れてください。

※洗剤ホースは容器の底まで入れてください。



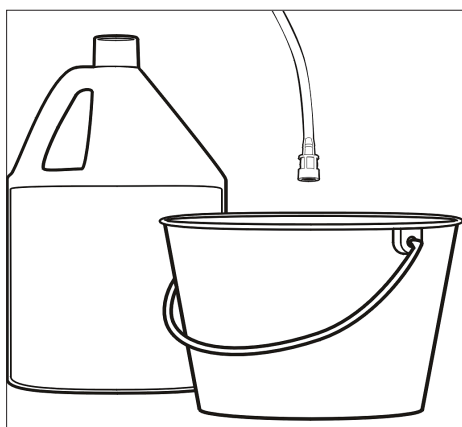
＜清掃を開始する＞

本体のスイッチを入れトリガーガンの安全ロックを解除し、トリガーガンを握ってください。
洗剤が本体内で水と混合されて吐出されます。

効果的な洗浄のしかた

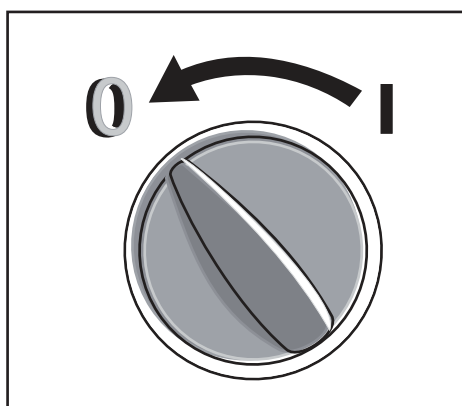
- ①乾いた洗浄面に洗剤を散布します。
- ②洗剤を散布したら1～3分間放置します。
- ③洗剤が乾ききる前に、ノズルを高圧ノズルに変更して高圧水で洗剤と汚れを洗い流してください。

作業を終了する場合



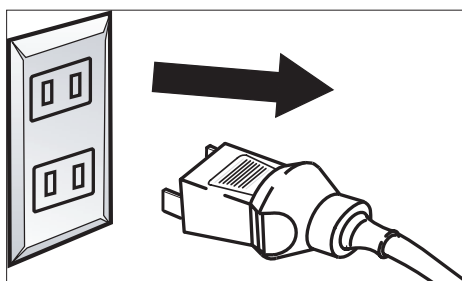
<ポンプ内のすすぎをする>

洗浄剤を使用した場合は、清水を入れた容器に洗浄剤吸引ホースを入れ、ノズルを低圧広角ノズルにして約1分間トリガーガンを握り、水を出してポンプ内をすすいでください。



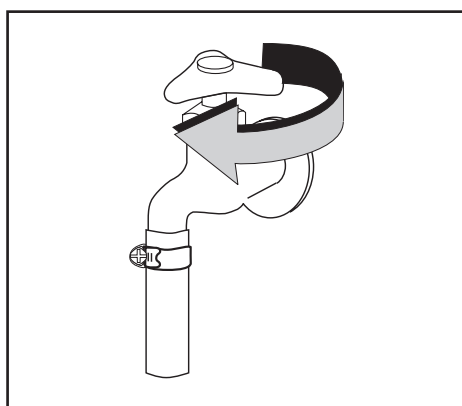
<スイッチを切る>

トリガーガンのレバーをはなして水を止め、メインスイッチを‘0’の方向へ回してください。



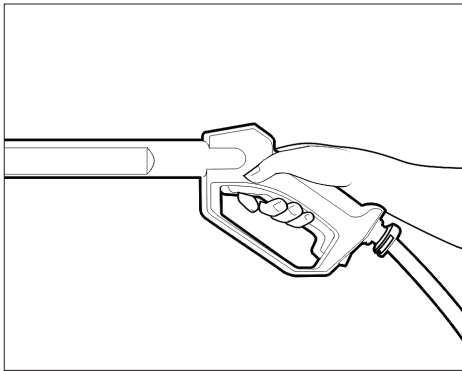
<電源プラグを抜く>

電源プラグをコンセントから抜いてください。



<水道栓を閉める>

水道栓を閉めてください。



＜トリガーガンのレバーを握る＞

トリガーガンのレバーを握って残った圧力を抜いてください。



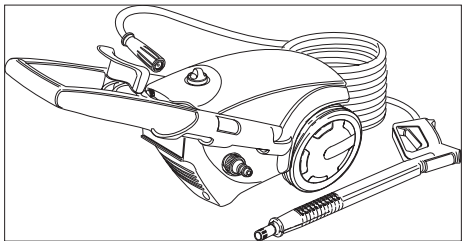
＜トリガーガンの安全ロックをかける＞

安全ロックをスプレーランス側に押すとトリガーガンのレバーがロックされ、握れない状態になります。



警告

作業を中断・終了する際は、必ず安全ロックでトリガーガンのレバーをロックし、レバーを握れない状態にすること
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故につながる可能性があります。
高圧水が誤って人体に向けて噴射された場合、死亡または重症を負う場合があります。



＜水道ホース、高圧ホースを取り外す＞

本体から水道ホースと高圧ホースを取り外して保管してください。

メンテナンス



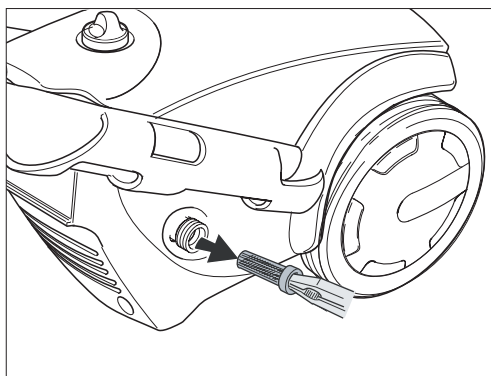
注意

メンテナンス作業を行う場合には必ずメインスイッチを切り、電源プラグを抜くこと。

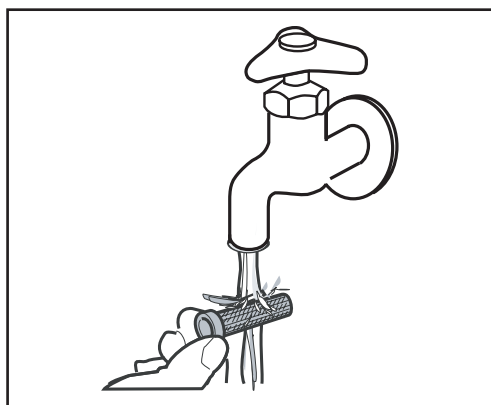
<メンテナンススケジュール>

| 頻度 | 箇所 | チェック項目 | 手順 |
|------------------------|--------------|--------------|---|
| 外観上の チェック 〔常時〕 | コード | 損傷、劣化 | すぐに交換を依頼してください。 |
| | 高圧ホース | 損傷、劣化 | すぐに交換してください。 |
| | 給水口 フィルター | 詰まり | 使用前にフィルターを取り外し詰まりを確認してください（次ページ参照）。 |
| | ポンプ | 水もれ | 1分間に10滴までは許容範囲内です。さらに大量の水もれの場合はケルヒャーサービスフロントにご連絡ください。 |
| 週1回 | 給水口 フィルター | 詰まり | 汚れていたらゴミを取り除き洗ってください（次ページ参照）。 |
| | 洗剤 吸引ホース | フィルターの 点検 | 汚れていたらゴミを取り除き洗ってください（次ページ参照）。 |
| 1年ごと、 500時間 使用ごと | オイル | オイル交換 | ポンプのオーバーホールおよびオイル交換をケルヒャーサービスフロントにご依頼ください。 |

<給水口フィルターの点検>

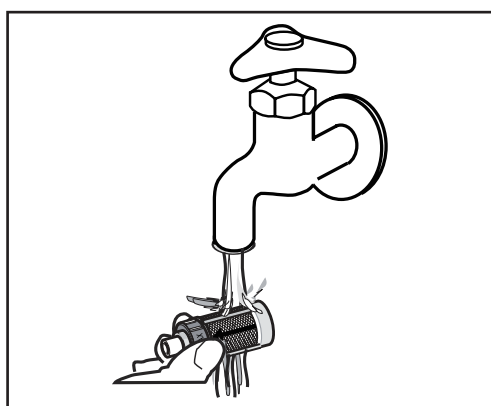


先端が平らなペンチなどで給水口の内部からフィルターを引き抜いてください。



流水でフィルターのゴミを取り除き、元通り取り付けてください。

<洗剤フィルターの点検>



洗剤フィルターをホースから引き抜き、流水でゴミを取り除いた後、元通り取り付けてください。

冬季・長期間の保管方法



冬季は凍結しない室内に保管してください

できれば暖房の入った室内に保管してください。

暖房の入った場所で保管できない場合は、手順に従ってポンプの水抜きを行なってから保管してください。

水抜きが不完全な場合、ポンプが凍結します。

万一凍結した場合は、スイッチを入れずに修理をご依頼ください。

凍結した状態でスイッチを入れるとモーター、ポンプが壊れます。

ポンプの水抜き手順

- ①本体のスイッチを切って水道栓を閉めてください。
- ②水道ホースを本体から取り外してください。
- ③トリガーガンからスプレーランスを取り外してください。
- ④トリガーガンのレバーを握り、ポンプの残留圧力を抜いてください。
- ⑤本体のスイッチを入れ、トリガーガンのレバーを再度握り、約 10 秒間前後動かし、ポンプ内に残っている水をできるだけ排水してください。
- ⑥本体のスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- ⑦本体から高圧ホースを取り外し、高圧ホースの中の水を排出しながら巻き取ってください。
- ⑧本体給水口内部からフィルターを引き抜き、本体を傾けて給水口から中の残水を抜いてください。排水後、フィルターを給水口に戻します。
- ⑨本体・付属品を凍結しない、ホコリのかからない場所に保管してください。
ポンプ内部にゴミ（細かいほこり、粉塵など）が入ると圧力が上がらなくなります。

次回使用時、スイッチを入れる前に必ず以下の作業を行なってください。

- ①水道ホースを本体に取り付けてください。
- ②高圧ホースを本体に取り付けてください。
- ③水道ホースを蛇口に接続して水道栓を開けてください。
- ④トリガーガンのレバーを握り、水がスムーズに出ることを確認してください。
水が出ない場合は凍結している可能性があります。スイッチを入れずに修理を依頼してください。

ポンプの凍結防止のため不凍液を使用することを推奨します。

- ①外気温度に適した不凍液を容器に用意してください。
- ②本体給水口からカップリングを取り外して自吸用ホースを取り付けてください。
- ③自吸用ホースのもう一方の端を不凍液の容器に入れてください。
- ④トリガーガンからスプレーランスを取り外してください。
- ⑤本体のスイッチを入れ、トリガーガンのレバーを握ってください。
- ⑥トリガーガンの先端から不凍液が出てきたらレバーをはなしてください。
- ⑦スイッチを切り、高圧ホースと自吸用ホースを取り外し、本体を保管してください。

※次回使用時、不凍液は回収して再利用できます。

- ①水道ホースと高圧ホースを本体に接続して水道栓を開けてください。
- ②本体のスイッチを入れ、トリガーガンのレバーを握って不凍液を容器に回収してください。
- ③回収した不凍液はゴミや汚れを取り除き、濃度を調整して再利用してください。

トラブル対応

下記のことを試しても問題が解決しない場合はケルヒャー サービスフロントまでご連絡ください。

| このような時 | 原因 | 対策 |
|----------------------|--|--|
| うごかない！ | 電源プラグがコンセントに接続されていない | 電源プラグをコンセントに接続してください。 |
| | 本体のスイッチが入っていない | 本体スイッチが入っているか確認してください。 ※ I が起動 (ON) です |
| | 電源コードが損傷している | ケルヒャー サービスフロントにご連絡ください。 |
| | 規格に適合しない延長ケーブルを使用し、モーターがオーバーヒートしている | 規格に適合する延長ケーブル (15 アンペア仕様・10m 以内) を使用してください。またはコンセントから直接電源を取ってください。 |
| | 同一コンセントで他の電気機器を使用している | 同一コンセントでの他の電気機器の使用を中止してください。 |
| | コンセントに電気が来ていない | 別のコンセントを使ってモーターが動くか確認してください。 |
| | 圧カスイッチ (トリガーガンのレバーをはなすと本体のモーターが停止する機能) が作動している | トリガーガンを持ってモーターが動くか確認してください。 |
| 本体スイッチを入れたが、すぐに止まった！ | 圧カスイッチ (トリガーガンのレバーをはなすと本体のモーターが停止する機能) が作動している | トリガーガンを持ってモーターが動くか確認してください。 |

| このような時 | 原因 | 対策 |
|------------|-----------------------------|--|
| 水がまったく出ない！ | 水道栓が開かれていない | 水道栓を開いてください。 |
| | カップリングがしっかり接続されていない | ホース側カップリングを本体側カップリングに、合わせ目のすき間がなくなるまでしっかり差し込んでください。 |
| | 給水口のフィルターが詰まっている | フィルターを清掃してください。 |
| | 3ジェットノズルが詰まっている | スプレーランスからノズルを取り外し、細い針金などでノズルの穴からゴミを取り除いてください。 または新しいノズルと交換してください。 |
| 圧力が上がらない！ | 本体内、高圧ホース内、水道ホース内に空気が混入している | スプレーランスを取り付けない状態でトリガーガンを握り、水流が一定になったらスプレーランスを接続して使ってください。 |
| | 3ジェットノズルが詰まっている | スプレーランスからノズルを取り外し、細い針金などでノズルの穴からゴミを取り除いてください。 または新しいノズルと交換してください。 |
| | 3ジェットノズルが低圧広角になっている | ノズルを高圧にしてください。 |
| | 給水口のフィルターが詰まっている | フィルターを清掃してください。 |
| | 十分な水量が供給されていない | 水道栓を全開にしてください。 |
| | ポンプに大量の水もれがある | ケルヒャーサービスフロントにご連絡ください。 |

| このような時 | 原因 | 対策 |
|--------------------|--|---|
| ポンプから音がする！ | 給水口のフィルターが詰まっている | フィルターを清掃してください。 |
| | 本体内、高圧ホース内、水道ホース内に空気が混入している | スプレーランスを取り付けない状態でトリガーガンを握り、水流が一定になったらスプレーランスを接続して使ってください。 |
| | 給水ラインのどこから水もれしている | 水もれしている箇所を修理または交換してください。 |
| 水もれがある！ | 1分間に10滴までは許容範囲内です。さらに大量の水もれの場合はサービスフロントにご連絡ください。 | |
| | ポンプ、本体から水もれしている | ケルヒャーサービスフロントにご連絡ください。 |
| | トリガーガンから水もれしている | 新しいトリガーガンを購入してください。 |
| | 高圧ホース接続部から水もれしている | 高圧ホース接続部のOリングを交換するか、または新しい高圧ホースを購入してください。 |
| | スプレーランス接続部から水もれしている | スプレーランス接続部のOリングを交換するか、または新しいスプレーランスを購入してください。 |
| 高圧ホースが本体に取り付けできない！ | 高圧ホース本体側ナットが斜めに差し込まれている | 高圧ホース本体側ナットをまっすぐに取り付けてください。 |
| 高圧ホースが本体から外れる！ | 高圧ホース本体側ナットに砂などが噛みこんでいる | 高圧ホース本体側ナット内および本体接続口を清掃してから取り付けてください。 |
| | 高圧ホース本体側Oリングが摩耗している | 高圧ホース本体側Oリングを交換してください。 |
| 高圧ホースが本体から外れない！ | 本体ポンプに残留圧力がある | トリガーガンのレバーを握ってポンプの残留圧力を抜いてください。 |

| このような時 | 原因 | 対策 |
|--------------|--------------------------|--|
| 洗剤を吸引できない！ | 3ジェットノズルが高圧ノズルになっている | ノズルを低圧広角にしてください。 |
| | 洗剤ホースに穴、ひび割れがある | ケルチャーサービスフロントにご連絡ください。 |
| | 洗剤ホースのフィルターが詰まっている | フィルターを清掃してください。 |
| | 洗剤ホースのフィルターが容器の底まで届いていない | 洗剤ホースのフィルターを容器の底までしっかり入れてください。 |
| | 洗剤ホースに洗剤が固着し、詰まっている | 洗剤ホースに水を通し、洗剤を洗い流してください。 |
| モーターが不規則に動く！ | 3ジェットノズルが詰まっている | スプレーランスからノズルを取り外し、細い針金などでノズルの穴からゴミを取り除いてください。 または新しいノズルと交換してください。 |
| | 電圧が不足している | 100Vのコンセントを使用してください。 |
| | 高圧ホースと本体の接続部から水もれしている | 高圧ホース接続部のOリングを交換してください。 |

ユーザー保証・問い合わせ先

ユーザー登録をされた場合のみ保証が適用されます。
ユーザー登録方法および保証規定は保証書をご確認ください。

修理・製品に関するお問い合わせ

サービスフロント

TEL：022-344-3164 又は 022-344-3146
へお問い合わせください。

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社： 宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番

TEL (022)344-3140

修理依頼書

修理を依頼する際は、この「修理依頼書」に故障状況などをご記入いただき、機械に添付してください。

正確な修理を迅速に遂行するために非常に大切な情報となりますので、皆様のご協力をお願い致します。

修理依頼日： 年 月 日

修理依頼書

機種名： HD 605 シリアルナンバー： _____

※シリアルナンバーは機械の外側に貼られている銀色のラベルに記載されています。

ご使用者様 氏名

ご連絡先 TEL：

FAX：

1) 購入日 年 月 2) 購入先 _____

2) 使用頻度 ※当てはまる番号に印をつけ、日数を記入してください。

①毎日 ②週__日 ③月__日 ④年__日

3) 1回の作業時間 _____時間

4) 延長コードの使用 ない / ある _____m

5) 作業場所 _____

6) 返送先住所： _____

※状況をなるべく詳しく説明してください。

補修部品

